

令和2年度 事業報告書(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

昨年の初めより新型コロナウイルスが拡大に至る中、骨粗鬆症財団では、特に世界骨粗鬆症デーや骨量測定拡大キャンペーンに関するイベントの中止を余儀なくされました。しかしこのような集客・人の移動に制限が課せられた状況において、日本でも海外でもネットワークを利用したコミュニケーションツールが急速に普及しました。

骨粗鬆症財団でも会議を Web にて開催する、YouTube チャンネルで体操動画を公開するなど新たな取り組みを始めました。またオンラインアンケートシステムを利用して骨粗鬆症意識調査を実施し、プレスリリースを行いました。ただインターネットで情報を得るのは簡単ですが、その情報は玉石混交であり、誤解を生む情報、誤った情報が散見されるのも事実です。

特に今回のような社会が困難な時期においては、より一層、正しい情報を提供することが公益法人に求められており、今後も更なる工夫とチャレンジを重ねながら、社会状況の変化に対応できる啓発情報の提供に努めてまいります。

【公益目的事業】

(1) 普及・啓発事業

イ) 骨粗鬆症に関する資材・資料の作成と配布

＜既存資材＞

- ・リーフレット(27,973部)／小冊子(3,869部)／ポスター(104部) ※WOD・宝くじ資材除く
- ・「骨粗しょう症連携手帳」 →後述
- ・骨粗鬆症情報紙「カノーパス」 →後述

＜新規作成＞

①ポスター

- 世界骨粗鬆症デーポスター(8,522部配布)
- 「骨には“密”が大切」「コツコツと毎日体操」
- 監修:新井 智之先生(埼玉医科大学)

②小冊子

- 2020年版「お母さんのやせは骨粗鬆症のリスク」(11万部)※日本宝くじ協会助成金
- 監修:福岡 秀興先生(福島県立医科大学)

ロ) ホームページ、SNSでの情報発信

①ホームページ

- ・トップページリニューアル(第1フェーズ)
- サイト内導線 シンプル化
- スマホ対応
- セキュリティ強化(通信の暗号化により「http://」→「https://」)
- ・ホームページ閲覧数 月平均
- 訪問者数 55,388件
- アクセス数(ページビュー:Webページが閲覧された回数) 106,206件
- ・「病医院リスト」登録数 2,075件(2021年3月31日現在)
- ・トップページへのバナー広告掲載で運営費の確保(8社)

②You Tubeチャンネル、Twitter開設

ハ) 広報誌等による情報発信

① 骨粗鬆症情報紙「カノープス」(eメールによる無料配信、奇数月20日発行)

- ・No.15～No.20までの6号を制作・配信
- 骨を守る会において紙資材で配布
- ・編集会議の開催(1回:2020年9月13日(日))

② プレスリリース

『COVID-19流行下での骨粗鬆症に関する意識・実態調査』
(2020年11月12日、アムジェンと協働)

③ 『OPJリエゾン』(ライフサイエンス出版)の編集協力

ニ) 『骨粗しょう症連携手帳』制作と配布

申し込み: 延べ126件 10,391冊 / 累計 延べ781施設・61,317冊 (2021年3月31日現在)
初回請求: 54件 2,749冊
リピート: 72(実数50)件 7,642冊

ホ) 世界骨粗鬆症デー・キャンペーン(WOD)

特別協賛: 日本イーライリリー / 協賛: エーザイ

1. ポスターを作成・配布

配布時期: 2020年9月

配布箇所(ヶ所): 自治体 1,787 / 病院・薬局 2,274 / 関連団体・会員等 200 合計4,261ヶ所

2. 動画制作・You Tube

「コツコツと毎日体操」

(コロナ禍においても室内でできる体操3本: バランスを高める、筋力を高める、痛みをとる)

監修: 体操 / 新井智之先生(埼玉医科大学) / 痛み: 松平浩先生(東京大学22世紀医療センター)

3. イベント

① 「世界骨粗鬆症デー in 金沢 2020」(金沢骨を守る会との共催)

後援: 石川県、金沢市、石川県医師会、北國新聞社、北陸放送 他

・「ストップ・ザ・骨粗鬆症」タペストリー展示

2020年9月30日(水)～10月20日(火)(金沢駅もてなしドーム)

・大型ビジョンにて動画配信

2020年10月12日(月)～10月20日(火)(めいてつエムザ、香林坊大和、片町きらら)

・You Tubeによる講演

「人生100歳時代、そしてコロナ禍出の骨粗鬆症予防と対策」(北陸大・三浦雅一先生)

・新聞、テレビなどの広報

北國新聞取材、記事掲載(10月1日、14日、20日)

HAB北陸朝日放送、MRO北陸放送 出演(9月30日、10月19日、20日)

② 「世界骨粗鬆症デー in 松本 2020」(松本市、一般財団法人松本ヘルス・ラボと共催)

※接触型の催しについては松本市から中止を要請され断念

・ポスター / リーフレット「くじらの骨モチーフ」(2,000枚 市関係の部署、施設に掲示・配置)

・You Tubeによる骨を学ぶコラボトーク

「寝たきりゼロを目指した骨粗しょう症対策」(講師: 信州大・中村幸男先生)

「自宅で簡単! 動ける体の作り方」(NHKテレビラジオ体操指導者・多胡肇氏)

- ・国宝松本城ブルーライトアップ(10月20日(火) 日没～22時)
ライトアップとともに堀端に説明用パネルを設置
- ・「信濃毎日新聞」、松本のローカル紙「市民タイムス」、「中日新聞」掲載
(信毎とタイムスで松本圏内はほぼ全てカバー)

へ) 骨量測定拡大キャンペーン

- ・測定促進ポスター「そこのあなた！骨粗しょう症予備群かも」配布(104部)
- ・財団QUS貸出及びセッティング
NHKあさイチ「若さと健康を保つ40代からの老化対策」(インタビュー:太田博明先生)
2020年6月17日/NHK渋谷放送センターロケ参加(タレントの椿鬼奴夫妻が測定)
2020年7月2日/放送

ト) 地域骨を守る会の支援・連携

- ・各骨を守る会に助成金を支給
(一律15万円×8団体:兵庫、埼玉板橋、京滋、信州、札幌、群馬、倉敷、金沢)

チ) 精度よくDXAで骨量測定するためのeラーニング

- 視聴申込:76名
(2017年3月開始より視聴者累計989名:医師19%、放射線技師65%、その他17%)
講師:福永仁夫先生、曾根照喜先生、友光達志先生

リ) その他

① 記事監修・資料提供

- ・UHB北海道文化放送「松本裕子の病を知る」(2020年5月24日、6月14日放送)
- ・テレビ東京「主治医が見つかる診療所」-芸能人こだわり健康法(ビタミンD)-(6月18日放送)
- ・TBS「健康カプセル！ゲンキの時間」- #435「骨」-(12月6日放送)
- ・鹿児島読売テレビ「西郷さんにも教えたい！鹿児島島の最新医療 健康に歩こう」(12月30日放送)
- ・世界文化社月刊誌「からだにいいこと」9月号 -目トレ・骨トレで老眼・骨粗鬆症を防ぐ-
- ・放送大学教材「疾病の回復を促進する薬」
- ・高崎市「女性健康カレッジ(50代女性向け教室)」-知ってほしい女性特有の身近な病気-
等 25件

② 資材監修・企画

- ・リーフレット「ほね1年プログラム」(旭化成ファーマ)
- ・企画「骨検！」(旭化成ファーマ)
- ・企画「いつの間にか骨折」(日本イーライリリー)

③ 「骨粗鬆症に関する連携小委員会」

- キックオフミーティング開催(2020年9月26日(土))
- 第1回会議(2020年11月28日(土))
 - ・財団の認知度を上げるための活動
(座談会の実施、JJOSへの寄稿、学会でのシンポジウム等)

④ 30周年事業ワーキンググループ

- 第1回会議(2021年1月31日(日))
 - ・30周年記念誌発行
 - ・啓発用ビデオ制作

(2) 研究助成事業

イ) 平成31年度助成分をまとめ、『研究助成報告集』を作成、執筆者及び関係団体へ配布

- ・第27回財団研究助成報告書 6題(指定課題 1/一般課題 4)
- ・第15回リリー研究助成プログラム報告書 10題
- ・第12回旭化成研究助成プログラム報告書 8題

ロ) 財団研究助成

- ・名称 令和3年度財団研究助成(アムジェン株式会社協賛)
- ・募集テーマ: 骨粗鬆症に関する臨床研究
- ・募集期間: 令和2年7月1日～8月31日
- ・選考委員会: 令和2年10月17日(土) 14:00～14:40 AP東京八重洲 Jルーム
- ・選考委員: 林 泰史(原宿リハビリテーション病院)
寺内 公一(東京医科歯科大学大学院 茨城県地域産科婦人科学講座)
石島 旨章(順天堂大学大学院 整形外科・運動器医学講座)
小川 純人(東京大学大学院 老年病学)

助成金額: 1件あたり100万円 応募者数 44題

	課 題	所 属	氏名(50音順)
1	腸内細菌叢を標的とした骨折予防戦略の構築	東北大学大学院医学系研究科 分子代謝生理学分野	荒井 誠
2	副腎由来ホルモンに基づいた骨質劣化型骨粗鬆症の診断モデルの確立	九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学分野	馬越 真希
3	MR spectroscopy を用いた筋骨連関メカニズムの解析	札幌医科大学医学部 整形外科科学講座	黄金 勲矢
4	骨質因子である骨微細構造とコラーゲン老化架橋および骨代謝回転の関係: HR-pQCT による横断調査	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 整形外科学	岡崎 成弘
5	HRpQCT を用いた閉経後骨粗鬆症女性における骨微細構造・BMD 値の荷重骨・非荷重骨での違いと影響を与える因子の研究	沖本クリニック	沖本 信和
6	骨粗鬆症患者における血清 25(OH)D 値と骨組織における石灰化障害の検討	立川総合病院 整形外科	奥村 剛
7	“いつの間にか骨折”をAI(人工知能)で胸部単純X線写真から診断する、陳旧性椎体骨折検出システムの開発研究	JCHO 東京新宿メディカルセンター 整形外科	佐藤 洋一
8	骨粗鬆症性椎体骨折新鮮例に対する受傷後早期床上安静の是非 早期離床との多施設前向き比較対照研究	筑波大学医学医療系 整形外科	高橋 宏
9	地域在住高齢者におけるαアクチニン3遺伝子多型とオステオサルコペニアの関係性に関する研究	鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科	谷口 善昭
10	心不全患者における未診断骨粗鬆症の有病率を明らかにするための前向き観察研究	新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学	藤木 伸也

(敬称略・氏名50音順)

(3) 調査・研究事業

イ) 大腿骨近位部骨折患者全国調査 実施継続の検討

※2017年調査 JBMR Plus掲載 Accepted :02 November 2020

Original Article (Open Access: <https://asbmr.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/jbm4.10428>)

Trends in Hip Fracture Incidence in Japan: Estimates Based on Nationwide Hip Fracture Surveys From 1992 to 2017

ロ) A-TOPデータの再利用研究: 高齢者における骨粗鬆症の病態の多様性について

Joint-02とJoint-03試験のデータを利用したエビデンスの構築: 各年齢階層別のベースラインデータの比較及び新規椎体骨折に与えるリスク因子の検討

※学会発表

第21回日本骨粗鬆症学会 一般演題(神戸市、2019年10月 医療費・データベースセッション)

「各年齢における骨粗鬆症患者の新規骨折発生に影響する因子-A-TOP研究登録の患者データを活用した解析(第2報)-粗O185」を報告

※論文投稿

『Osteoporosis International』に投稿予定

“Elderly patients, aged ≥ 80 years may experience incident vertebral fractures despite bisphosphonate therapy”(仮)

(4) 情報交換&ロビー活動等

イ) IOF

・IOF「骨粗鬆症患者のための声明」日本語版

日本骨粗鬆症学会、日本骨代謝学会による提言をHPに掲載(2020年5月18日)

・アジア太平洋地域会議へ最近の活動として研究活動と教育活動を報告

ロ) 日本骨粗鬆症学会

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」改訂準備

ハ) 厚生労働省健康局

全国の骨粗鬆症検診受診率算出依頼に対応(2018、2019年分)

ニ) 厚生労働省 Smart Life Project

「健康寿命をのばそう! サロン」参加(2021年2月18日)

【収益事業等】

イ) 著作権関連事業

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」等からの転載許諾対応